

(別紙)

安全の日

——安全への誓いと事故を風化させないために——

2009年アーチェリー練習中の事故で、生徒お一人の尊い命が失われる痛ましい事故が発生してしまいました。本年度は「全日本ターゲット選手権大会」の初日を安全の日、11月を安全月間とし、安全への誓いと事故を風化させないためのメモリアルな日と位置づけ、いつまでも忘れることなく安全に対する再認識の機会としました。安全に安心して活動に取り組み、生涯にわたり自ら進んでアーチェリーに親しみ健康で活力ある生活を送ることができるよう(公社)全日本アーチェリー連盟で定めている、安全についての内容を確認してください。

安全宣言

1. 私たちは、たとえ矢をセットしていなくても、決して弓を人に向けません。これがアーチェリー最大のマナー常識です。
2. 私たちは、アーチェリーに真剣に取り組みます。
3. 私たちは、ルールを守ります。
4. 私たちは、アーチェリーを自己責任のスポーツであることを理解します。
5. 私たちは、事故撲滅のため、「安全マナー」「事故防止に向けて」などの基本を守って事故ゼロを宣言します。
6. 私たちは、指導者・管理者の注意を守ります。
7. 指導者は、先ず安全教育から始めます。
8. 指導者は、技術と共に、心豊かな人材育成を心がけます。
9. 私たちは、相手を誠実に思いやり、尊敬し、真剣に競技して、良いアスリート・心豊かな人になることを宣言します。

(公社) 全日本アーチェリー連盟